

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 人工腎臓装置不足地域設備整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 がん・受動喫煙対策係 電話番号：058-272-1111(内3319)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,693 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,693	4,693	0	0	0	0	0	0	0
決定額	4,693	4,693	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

糖尿病性腎症などから透析治療が必要となる人の増加が懸念されており、より身近な地域での人工腎臓装置の整備が重要となってきている。また、災害時の急性腎臓障害患者に対応するためにも、地域にくまなく設備の整備の必要がある。

人工腎臓装置不足地域設備整備事業は昭和59年に創設され、平成17年度までは国庫補助金の医療施設等設備整備費補助金の直接補助としての制度であったが、三位一体の改革とともに新たな医療計画制度の実効性を確保し、医療提供体制と地域保健及び健康増進体制との連携強化を図る観点から、設備整備を支援する医療提供体制推進事業補助金(統合補助金)が創設され、その交付対象事業となった。この統合補助金は、県に交付されることとなるため、補助事業者には間接補助の形での助成制度となり、県の補助制度が必要となる。

令和3年度時点で岐阜県には多人数用74設備1,967台、単身用212台があり、透析治療を受けている人数を台数で除した不足値は2.36となっている。国の不足地域の定義は、この不足値が2以上の地域とされている。

(2) 事業内容

人工腎臓装置不足地域に装置の整備を行う医療機関に対して助成を行い、これによって透析患者に対する治療の充実を図り、透析医療の地域格差の解消を図る。

【補助対象事業者】

公的団体、民間病院

【補助対象および補助率】

人工腎臓装置の購入費の1/3

基準額：多人数用 14,080千円

単身用 7,150千円

(3) 県負担・補助率の考え方

医療提供体制推進事業費補助金交付要綱
岐阜県医療施設等設備整備補助金交付要綱

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,693	装置の整備を行う医療機関に対する助成
合計	4,693	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

人工腎臓装置の整備を補助することにより、透析医療の不足と地域格差を解消し、人工透析の円滑な実施を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	達成率
①人工腎臓装置不足値	2.36	2.36	2.18	2.00	2.00	85%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	透析治療が必要となる人の増加が懸念されており、より身近な地域での人工腎臓装置の整備が重要となってきた。また、災害時の急性腎臓障害患者に対応するためにも、地域にくまなく設備の整備の必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	令和元年度から令和4年度は実施補助事業者がなく、人工腎臓装置の不足値が目標に達していない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	地域ごとに透析台数と患者数を把握し、国の基準である不足値が2以上の地域へ補助を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 近年、高齢化につれ透析治療を受けている人の高齢化も進み、糖尿病性腎症などから透析治療が必要となる人の増加が懸念されており、より身近な地域での人工腎臓装置の整備が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 人工腎臓装置の整備を行う医療機関に対して補助を行い、透析患者に対する透析医療の充実と地域格差を解消を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】